

PTA 会員各位



多聞小学校 PTA 会長 川田 英明
成人教育委員会委員長 岸 友季

令和元年度 年間テーマ つなげよう親と子の学びのバトン

ふれあい No.7

第3回 家庭教育学級 講演会の報告

「大学入試まで役立つ小学生時代の魔法の習慣」

11月26日に実施した第3回家庭教育学級には、3男1女を東大理Ⅲに進学させたことから、その子育て法、勉強法が注目され、効率的できめ細かな勉強サポート術に定評がある佐藤亮子氏をお招きして上記テーマでご講演をいただきました。子どもの勉強に悩む保護者のアドバイザーとしてメディアで発言するほか、進学塾などで多数講演されており、様々な事例とともに講義して頂きました。分かりやすく興味深い内容で、参加された方からは、子育ての参考になったという意見を多数いただきました。

このおたよりでは、当日の内容を振り返ります。どうぞ最後までお目通しください。



- ・ 親も子どもも楽に楽しく、いかに効率よく時間を有意義に使うか
- ・ 子育てが目指すのは“笑顔” 18年間を振り返った時に「楽しかった」と思えるように
- ・ 将来“自活”できることが目標
- ・ 勉強には小道具が必要 (タイマー・鉛筆・消しゴム・専用ボックス・必殺ノートなど)
- ・ 大学受験までにやっておくべき勉強サポート 等々、質疑応答を含め約1時間半の講演でした。

***** 講演会での学び *****

【宿題について】

やらないことを責めず、楽しくやる方法を考える。

なかなかやり始めない時は、時間を決める、その代わり親の都合で時間をずらさない。

手を途中で止めてでも一緒に取り組む。

【年齢に合わせた接し方・勉強法について】

どの年代でも目を離さない。

鉛筆はきちんと持たせるが、姿勢は自由に。時には寝転がっていても OK (何時間も良い姿勢で机に座らせておくのは酷)。

学習塾は必要、ただ行かせっぱなしにしてはダメ。

具体的に何ページを、いつまでにやるのか細かく数字で伝える。

手を替え品を替え、子どもが楽しく勉強できる環境を整える。

【時間管理について】

学習時間を決めて実行する。

キッチンタイマーを利用する。例えば30分で3枚のプリントをやるなど、時間内に終わらなかったら次の科目をやらせる。

(一年生だと15分が目安) 習慣付けることが大事。

【子育て・声掛けについて】

子どもが勉強したがる時は、なぜしたくないのか考えさせる。

小さいときは、とにかく遊ばせる。本物と触れ合う(植物や夜の星空など)。

人と比べない、比べるとやる気をなくす。

テレビは見せない。

子どものスケジュールは、きちんと管理(優先順位を決めて適度に手をぬく)。

ご参加いただいた保護者の方々からのご感想

(アンケートより抜粋)

- ◇ 親の覚悟が必要なんだと改めて思いました。勉強をさせることが大切だと考えていましたが、本当にこれで良いのかと迷いながらの毎日でした。その迷いが子どもにも伝わってしまい良くない習慣ができていました。今回のお話を聞き、気持ちをあらたに頑張りたいと思います。
- ◇ 勉強法が今まで間違っていたのを痛感しました。家に帰ったら、環境を変えてみようと思いました。
- ◇ 親としての役目や、やるべき事を再確認しました。親の為ではなく子どものことを優先して生活したいです。
- ◇ 子どもに勉強させるための、やる気を引き出すノウハウが詰まった内容で大変参考になりました。
- ◇ 圧倒された一時間でした。母としての役割をせず、子どもにやれやれと言うのはだめだとわかりました。
- ◇ 面白かったです。子どもの自主性を育てたいと思い、ただ「やりなさい」と声掛けだけをしていましたが、それでは意味がないのだなと思いました。
- ◇ 子どもは怠けるものと思う事で、肩の力がぬけました。親の工夫、意識してみます。
- ◇ 最終的に「子どもが笑顔」になることが一番大事、最終目標、とおっしゃっていたのが心に残りました。最後の一言「親の役目は選択肢を広げてあげる、学力をつけさせてあげる」これに尽きると思います。
- ◇ テンポ良く、面白おかしく学習法や子育て方法について参考になる話を聞くことができ良かったです。
- ◇ 素晴らしい講演で本当にためになりました。ありがとうございました。

※ 本文章は、講演内容にもとづき、編集者の主観でまとめたものになりますこと、ご了承ください。

今回は、約140名の保護者の皆様と、地域の方々にお越しいただきありがとうございました。講演で得た学びをこれからの子育てのお役に立てて頂けたら幸いです。

皆様お忙しい中、ご参加ありがとうございました。